

6 / 14

## 昨年の台風で倒木した鳴滝脇の斜面に アジサイやもみじ 50 株を植えました



鳴滝（瓦会地区）の整備事業を行っている両桁山寺地区と鳴滝会の皆さんが、昨年の台風で倒木した斜面にアジサイともみじ約 50 株ずつを植えました。当日は約 20 人が参加し、植樹と併せて周辺の除草作業や山道の整備も実施。

梅雨らしくシトシトと雨が降る中「綺麗な鳴滝をみてもらいたい」という思いを持った皆さんが、足元が滑りやすい状況にも関わらず、手際よく作業を進めていました。作業を終えた皆さんの清々しい表情が印象的でした。

5 / 30

## 園部小 P T A が 通学路の看板を取換



園部小 P T A（長谷川孝夫会長）は、子どもたちの通学路内で古くなった看板など 30 か所を「あぶない」や「通学路」と書かれた新しい看板に取り換えました。

作業には 10 人が参加。長谷川会長は「子どもたちには毎日安心して、安全に通学してもらいたい。このような看板を見かけたらドライバーの皆さんにも注意していただき、通学路での交通事故がなくなることを切に願っています」と思いを話されました。

6 / 10

## 野口ばら園から バラ 300 本寄贈



石岡市東光台でばら園を営んでいる野口ばら園（野口和茂代表）から、バラの花 300 本を寄贈いただきました。

野口さんは「新型コロナウイルス感染症の影響で価格が例年を下回っている。少しでも市民や職員の皆さんに見てもらい、癒しになれば」と寄贈への思いを話してくださいました。

寄贈いただいたバラの花は、石岡市役所本庁舎と八郷総合支所の窓口に飾らせていただきました。

6 / 16

## 石岡興業(株) ふるさと応援寄附金



市政全般のために役立ててほしいと「石岡市ふるさと応援寄附金」として現金10万円を寄附していただいた石岡興業株式会社（秋山勝広代表取締役）に、市長から感謝状が贈られました。

「石岡市ふるさと応援寄附金」は教育や観光、子育て応援に関する事業など、魅力的なまちづくりのために幅広く活用させていただいています。市外在住の寄附者に贈っている、返礼品の提供事業者も随時募集中です（今月号11ページ参照）。

6 / 17

## やさと農業協同組合 生花を寄贈



やさと農業協同組合（神生賢一組合長）から市へ、バラやトルコギキョウなどの生花が寄贈されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントなどの中止や延期が相次ぎ、消費が落ち込む花き業界への支援と、市内保育所や小中学校に花を飾ることで少しでも明るい気持ちになってほしいという思いが込められています。

花をもらった子どもたちは元気いっぱい「ありがとうございます」と笑顔を向けていました。

6 / 23

## (株)博進紙器製作所 企業版ふるさと納税



企業版ふるさと納税を活用した寄付金1,000万円を、株式会社博進紙器製作所（丸井宏之会長）から寄附していただきました。

企業版ふるさと納税は、国が認定した市の地方創生プロジェクトに対して企業が寄付をした場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みです。「これからも地元とともに頑張っていきたい。少しでも何かの役に立ててもらえれば」と丸井会長。寄付金については子育て支援関係経費への活用などを検討しています。

6 / 24

## 府中女性の会 感謝の折り鶴 567羽



石岡市地域女性連絡協議会に所属している府中女性の会折り紙クラブの皆さんが、新型コロナウイルス感染症の最前線で闘っている医療従事者に感謝の意を伝えるため折り鶴567羽を折りました。

折り紙クラブ部長の大塚さんは「医療従事者はもちろん、感染拡大防止のために取り組んでくれているすべての人たちへ、感謝の気持ちを込めて折りました」と話してくれました。折り鶴は府中地区公民館の正面玄関に飾られています。